

令和5年度吹田市障害者相談支援事業等委託業務1次評価結果

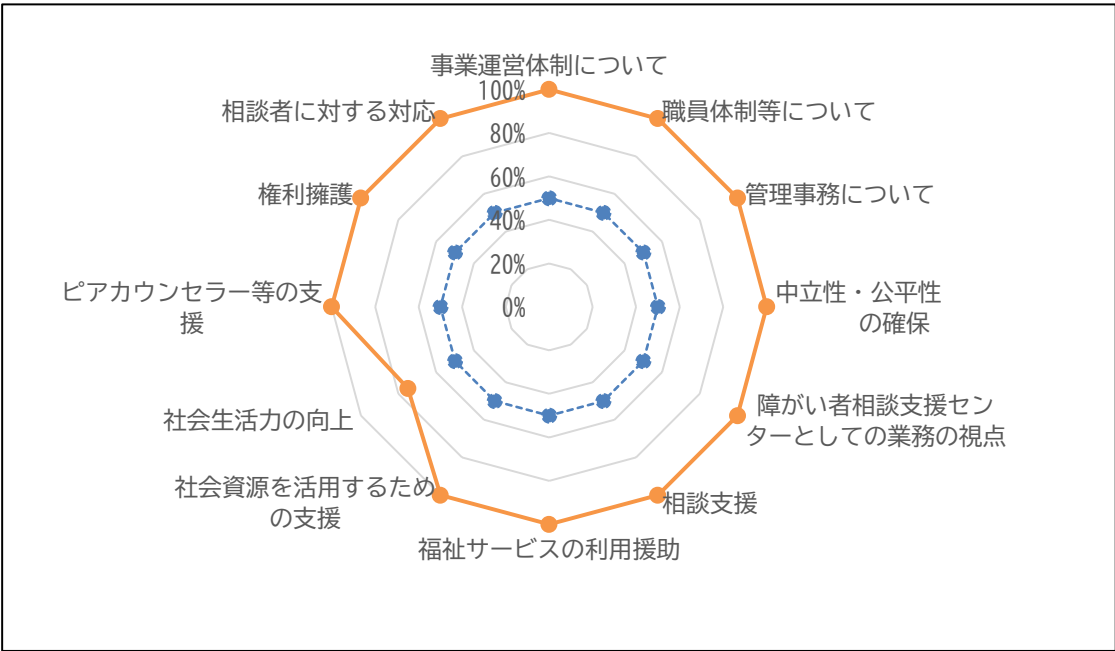
センター名 千里ニュータウン障がい者相談支援センター

法人名 医療法人 協和会

評価結果 優

理由 同センターは、障がい福祉室の一次評価において、総合点の9割を満たすものであったため、適切に業務を実施し、求められる水準に達していると判断する。

総合点	組織・運営体制 評価点数	センターの役割 評価点数	相談支援事業 評価点数	相談者の満足度 評価点数
71	28/28 (点)	10/10 (点)	27/28 (点)	6/6 (点)



① 組織・運営体制

令和5年前後で人員体制に大きな変化があったが、業務仕様書に沿った適切な職員配置を実施し、内外部の研修を積極的に取り入れ、会議等での職員間共有を行うことにより、知識と資質の向上に努め、昨年度と変わらない支援の提供に努めた。広報においてはセンター内の掲示や配架だけでなく、定期的な広報誌を発行・配布することで、潜在的なニーズの発掘を行い、センターの存在と役割のさらなる周知に取り組んだ。

② センターの役割

高齢化や転入世帯増加に伴うつながりの希薄さや社会資源の不足が地域の特性として課題となっていることを支援機関との連携、利用者への丁寧なアセスメントにより把握することができた。センター内での職場会議や事例検討会の定期実施および関係機関との活発な連携により、迅速で柔軟な対応と、支援ネットワークの広域化を推進している点を評価する。

③ 相談支援事業

相談者の相談者の状況や困りごと等を聴取するなどアセスメントを丁寧に行い、意向を確認しながら情報提供を行っている。また、定期的に支援方針の見直しや経過確認を行うことにより進行管理しており、支援が終結するまで対応しており、適切な相談支援を実施している。

④ 相談者の満足度

利用者アンケートでは、大多数の方から「すごく満足」という結果であり、利用者からは丁寧な説明や対応について特に高い評価を得ている。利用者ニーズの把握を継続的に行い、サービスの向上に向けて取り組んでいる。

④ 総合的な評価

多岐に渡る地域活動を通じて、地域の関係機関との顔の見える連携を深めており、かつ新しい支援機関やインフォーマルな社会資源との繋がりを得るなど、活発な活動による成果が見られることに加え、相談者と関わる中で微細な様子の変化に気付き、何気ない会話から出されるSOSを支援に繋げられるよう職員の相談スキルの向上に注力している点からも、地域の相談窓口としての役割を十分に果たしていると判断する。

※ 評価結果の基準

センターの実施計画及び委託相談支援事業仕様書に基づき、書面又は聞き取りによる確認を行い、履行状況の適否を判断する。

○ 実施計画及び委託相談支援事業仕様書を遵守し、適切である。 (2点)

△ 実施計画及び委託相談支援事業仕様書を概ね遵守しているが、一部に課題がある (1点)

× 実施計画及び委託相談支援事業仕様書を遵守しておらず、改善が必要である。 (0点)

総合点の90%以上を「優」、70%以上を「良」、50%以上を「可」、50%未満を「不可」とする。「不可」の結果については、障がい福祉室と協議を実施する。